

お金より先に
生き方の話をしよう

後悔しないためのライフプランニング

ブロードマインド
中村哲規

こんなモヤモヤを抱えている人は、ぜひ本書を読んでみてください。

○ 「なんとなく金融商品を選んだ人」

「保険に入ったけれど、本当に必要か不安になってきた」

「とりあえず投資信託を始めたけれど、この商品でよかったのか……？」

○ 「平均値」に振り回される人

「『老後2000万円』とは聞くけれど、ウチの場合もそんなに必要なのかな……」

「私の年齢の平均貯蓄は○○万円。そんなに持っていないよ」

◎ 住宅購入を迷っている人

「賃貸はもったいないだろうし、そろそろ買ったほうがいいのかな」
「欲しい家は○○○○万円するけど、払い切れるのかな……」

◎ とりあえずできる限り貯金している人

「結婚して子供も欲しい。とりあえず節約はしているけど足りるのかな……」
「将来のためには貯金がいちばん。生活費は最低限に抑えて頑張っている！」

みなさん、一生懸命に働いて、頑張って貯金もしているのだと思います。資産運用を始めている人も多いのではないのでしょうか。

それなのに、なぜ不安なのでしょう。

まえがき

世の中には、少しでもリターンの高いNISAの銘柄選びやとにかくコストダウンできる保険の見直しなど、「**どうやってお金を残すか**」という「**小手先のテクニック**」の話があふれています。しかし、「何のためにお金が必要なのか」という「**目的**」を**考えさせるような発信は、あまりありません。**

これは、自分がどこへ向かいたいのかが決まっていないのに、どの乗り物に乗るのかを一生懸命に選ぶほうとしている状態です。迷い、不安になるのは当然なことです。

向かいたい場所は、人それぞれに異なります。本来は世間の平均値や、出所のわからない情報に振り回される必要はないのです。**お金より先に、「生き方」の話をしてみませんか？**

どんな働き方をして、どんな家族を持ち、どんな子育てをするのか。どのような住まいに住み、どんな趣味を楽しんで暮らすのか。そして、人生の延長線上に迎える老

後を、どのように過ごすのか。

「自分にとっての幸せとは何か」を、1つひとつ丁寧にひも解いていく。そのプロセスを経て描き出される「人生の設計図」を、私たちは「ライフプラン」と呼んでいます。「ライフプラン」という言葉を聞くと、多くの方は「家計の計算」や「将来の貯蓄額」など、経済的な根拠をもとに論理的・合理的に進めていくものという印象を持たれるかもしれませんが、もちろんお金の計算も大切ですが、その前に必要なのは、「人生の解像度」を上げることです。

自分の「やりたいこと」や「叶えたいこと」といった、目に見えない価値観や感情にじっくりと耳を傾ける。そのプロセスを経て初めて、理想を実現するために「いつ、いくら必要なか」という設計図を描けます。現状とのギャップを正しく捉え、それを無理なく埋めていくための具体的な一歩を、本書では提案しています。

実際に私は、こうしたプロセスを経て、お客様が「自分らしい生き方が実現できそう」と希望を見出す場面を数多く目にしてきました。

- ・ マイナス予測のシミュレーションから、子供2人の出産・住宅購入の計画が立った
- ・ いつも資金繰りが大変な自営業の家庭が、しっかりと老後資産を準備できるように
- ・ 毎月赤字の家計から、教育費と老後資金の両方を十分に準備できるように

人生の解像度が低いままだと、漠然とした不安はいつまでも消えませんが、その結果、いざというときに資金が足りなくなったり、逆に将来を恐れるあまり、必要以上に我慢を続けてしまったりすることになります。いずれの場合も、幸せだとは言えません。現在も将来も安心して暮らせてこそその、「幸せな人生」です。

私は、ブロードマインドという会社でお金のご相談を受けるFP（ファイナンシャルプランナー）として、これまで2000世帯以上の方のライフプランニングに携わってきました。

当社の土台にあるのは、金融業界の構造に対する課題意識です。金融業界は縦割り構造であり、一般的には、保険会社は保険を、証券会社は証券を売るのが仕事です。しかし、相談するお客様にとっては1つの家計のことにもかかわらず窓口がバラバラ

の状態です。1つの窓口で勧められた商品が、その家計全体にとって最適なものなのか、過不足がないかは、ある程度自分で判断しなければなりません。

金融商品はあくまで自分の人生を実現するための「手段」です。価値観や考え方は人それぞれ異なり、暮らし方も多様化しています。さまざまな金融商品の中から、自分にとっては何が必要なのかを考える。そのものさしとなるのが「ライフプラン」なのです。

本書も、私が現場で得てきた経験やノウハウをもとに構成しています。

第1章では、「お金の不安」がどこから来るのか、その正体を見つめます。また、なぜライフプランが必要なのかを改めてお話しします。

第2章では、理想の人生をイメージします。ここでは「いくら必要か」を考える必要はありません。「自分にとっての幸せ」をなるべく具体的に想像していきます。

第3章では、まず自分の現在地を知ります。その上で、第2章で描いた理想の人生に、いくら必要なかを見ていきます。

すると、多くの場合、お金が足りないことがわかります。しかし、ショックを受け

る必要はありません。必要な金額と時期がわかれば、対策方法もわかります。第4章では、理想と現実のギャップを埋める方法を決めます。

最終章となる第5章では、私のストーリーをお伝えさせていただきます。コンサルタントとして働く中で、さまざまな喜びと同時に、課題を感じるようになりました。誰もが自立してお金のことを考え、人生を選び取っていくことができる。理想の社会の姿をお伝えします。

また、各章の最後には、お客様のエピソードを紹介します。実際にどのようなプロセスを経てお金の不安を解消していったのか、具体的な流れをご覧いただけます。ご自身に近いケースを参考にしてください。

お金に振り回されるのではなく、お金を自分らしく生きるための道具に変える。 漠然とした不安を抱えたまま、どこかで後悔してしまわないように、自分だけのライフプランを描いていきましょう。

お金より先に“生き方”の話をしよう
後悔しないためのライフプランニング

Contents

まえがき.....004

1 「お金の不安」の正体

「お金」を理由に夢を諦めなくていい.....018

「お勧めの投資商品」は存在しない.....024

理想の人生を描く「ライフプラン」.....030

2

自分だけの ライフプランを描く

理想の人生の設計図を描く……………

050

理想の「働き方」をイメージする……………

052

理想の「家族」をイメージする……………

060

理想の「子育て・教育」をイメージする……………

① 幼少期

065

理想の「子育て・教育」をイメージする……………

② 小・中・高

068

理想の「子育て・教育」をイメージする……………

③ 高等教育

071

理想の「住まい」をイメージする……………

① 住む街

075

理想の「住まい」をイメージする……………

② 賃貸住宅／持ち家

076

3

現在と将来の生活に必要なお金を知る

- 理想の「住まい」をイメージする ③一戸建て／マンション 079
- 理想の「趣味」をイメージする 084
- 理想の「老後」をイメージする 087
- シミュレーションの手順 100
- 自分の「現在地」を知る 104
- 「生活」に必要なお金を知る 107
- ライフプランをシミュレーションする 114

4

現実と理想の ギャップを埋める

ギャップを埋める方法を決める

「出産」に必要なお金を知る

116

「育児」に必要なお金を知る

122

「教育」に必要なお金を知る

127

「住まい」に必要なお金を知る

138

「老後」に必要なお金を知る

148

突発的に必要なお金を知る

155

「保険」には入るべきか

160

5

2000世帯の悩みを 解決したFP

- ギャップを埋める方法①「収入」を増やす……………176
- ギャップを埋める方法②「支出」を減らす……………186
- ギャップを埋める方法③「資産運用」をする……………199
- お金の問題で人生が変わってしまう人もいる……………222
- 1回の提案のために20回のヒアリング……………227
- ライフプランは人生を考えること……………231
- 誰もが自立してお金のことを考えられるように……………236

お客様の事例 ①

20代共働き・新婚夫婦の「隠れリスク」を克服。

マイホームと安心を引き寄せた資産管理術……………037

お客様の事例 ②

年商1200万円の「どんぶり勘定」からの見直し。

45歳自営業・4人家族が手に入れた安心と老後資産……………090

お客様の事例 ③

世帯年収1000万円超でも「毎月赤字」。

40代後半夫婦・4人家族が叶えた家計再生……………164

お客様の事例 ④

賃貸を続けるなら老後資金はいくら必要？

年収650万円・40代独身女性が掴んだ老後の安心……………211

お客様の事例⑤

資産1億円超でも老後不安は消えなかった。

50代後半夫婦が自由な老後を手に入れるまで

あとかぎ